

## ムラサキカタバミ (紫片喰み)

名前の意味：花の色が<sup>いみ</sup>紫色のカタバミの意味。カタバミは葉の先がくぼんでいる形を、誰かにかじられたと表現した。

分類：双子葉類、カタバミ科、カタバミ属

好きな場所：やや<sup>しめ</sup>湿った道ばた、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：南米

特徴：3つのハート型の葉に分かれる葉、<sup>うすむらさき</sup>薄紫色の花

種子の運ばれかた：果実が種子をはじき飛ばす

花弁の数：<sup>りべん</sup>離弁、5枚

花の時期：4—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：カタバミとは、花の色が<sup>うすむらさき</sup>薄紫色であること区別できる。

イモカタバミとは、クロッカスのような<sup>きゅうこん</sup>球根があり、花の中心が白いことで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

<sup>そうごうなんいど</sup>総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)